
大人のための異文童話集19 マッチ売りの少女

天野久遠

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

大人のための異文童話集19 マッチ売りの少女

【Nコード】

N65410

【作者名】

天野久遠

【あらすじ】

そして少女は恋をした。

ほのかな温もりしか持てないマッチに恋をした。
温かなマッチの火がとても好きだった。

寒いのはイヤだからと、

暖かさを求めてさまよい歩いた。

ときには学校、ときには教会。

歩き疲れてここも冷える。

ほんの少しの暖かさにこころが揺れて、
とどまる場所と身を置いた。

けれどもそれは幻想の世界。

気付いてみれば寒さは防げずまた歩く。

少しの暖かさでいいと繰り返すうち、
温もりなんて夢だと思つ。

結局冷えたその身の置き場。

幻想であろうとなかろうと、
そこしかないと諦めた時・・・
マッチが現われ火を灯す。

1本、また1本とマッチをこすり、
灯すその火の暖かさ。

いつしか少女は寒さを忘れてしまい、
暖かさに安堵を憶える。

そして少女は恋をした。

ほのかな温もりしか持てないマッチに・・・恋をした。

温かなマッチの火がとても好きだった。

少女はマッチを火をつける。

マッチの数、その限りがあることに気付かずに、
こころが寒くなるとマッチに火をつけた。

あるとき、ふと、少女は気付いた。

残り少ないマッチの数に。
使えばなくなるマッチの数に。

1本、火を灯せばマッチはなくなり、
また1本・・・

火を灯せばその身の置き場が遠ざかる。

それでも少女はマッチに火を灯す。

少ないマッチ数えると、もう、涙あふれて止まらない。

もうすぐで、愛しいマッチともお別れです。

箱の中には最後のマッチ。

これで・・・

寂しいこの、身体と心ともお別れです。

雪の中、少女はマッチと共に夢の中へと旅立つのです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6541o/>

大人のための異文童話集19 マッチ売りの少女

2010年11月2日02時25分発行